

平成29年度 第2回新潟北警察署協議会議事概要

開催日時	平成29年10月5日（木）午後1時30分から午後3時00分まで		
開催場所	新潟北警察署 講堂		
出席者	委員 (定数7人)	長井会長 石田副会長 後藤委員 高橋委員 中川委員 山崎委員 渡邊委員 (会長・副会長の他は50音順)	計7人
	警察	伴署長 樋口副署長 清水警務課長 小谷会計課長 小林生活安全課長 山口刑事課長 木村地域課長 金塚交通課長 恩田警備課長 警務係長	計10人

管内の治安情勢等

署長及び関係課長から、管内の治安情勢等について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長及び関係課長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 特殊詐欺被害防止推進員の活性化による被害防止対策の強化

(1) 特殊詐欺被害防止対策の推進

ア 特殊詐欺被害発生状況（平成29年8月末現在での管内での発生状況）

- ・ 被害認知件数 2件（前年同期3件減）
架空請求詐欺（有料動画サイト利用料金請求を偽装）1件
医療費の還付を偽装した還付金等詐欺 1件
- ・ 被害額 120万円（前年同期1,176万円減）

イ 主な水際での未然防止事例

- ・ 60歳代男性に対する市役所職員をかたる還付金等詐欺被害
～銀行員が窓口で看破し未然防止
- ・ 50歳代男性に対する有料動画サイト登録料を偽装した電子マネーによる架空請求詐欺被害

～コンビニエンスストアの店員が看破し未然防止

ウ 主な被害防止活動の状況

- ・ 特殊詐欺被害防止推進員の拡充

これまで特殊詐欺被害防止推進員として10人を委嘱している。今回、新潟県防犯アドバイザーである漫談師「中野小路たかまる」さんを特殊詐欺被害防止推進員に委嘱した。中野小路さんは年間200回を超える講演を行い、独特のユーモアあふれる話術で特殊詐欺の被害防止に努めている。

また、北区マスコットキャラクターの「クイクイ」も特殊詐欺被害防止推進員に委嘱し、その愛らしいキャラクターで、特に子供たちに大人気である。

- ・ 特殊詐欺被害防止推進員の活動状況

中野小路たかまるさんと当署員で、高齢者の参加する地域集会で特殊詐欺被害防止広報を行った。中野小路さんが漫談で笑わせながら特殊詐欺の手口を注意喚起するとともに、署員も前座として登場し特殊詐欺、犯罪発生状況、交通事故発生状況を説明し、住民の方々から好評を得ている。クイクイはスーパーマーケット店頭で広報を行い好評であった。



【特殊詐欺被害防止推進員委嘱式】



【委嘱状を受け取るクイクイ】

エ 金融機関による特殊詐欺被害未然防止

管内の金融機関が特殊詐欺被害に遭うおそれのあった人に声掛けして、被害を未然に防止したことから、署長感謝状を贈呈した。

金融機関との連携を更に強化するため、連絡会議を開催する。

2 夏季における暴走運転等の防止と交通事故発生時の被害軽減及び子供の自転車乗車中の交通事故防止対策の推進

(1) 夏の交通事故防止運動（7/22～7/31）

夏場の疲労運転、飲酒運転の防止、横断歩行者の保護及びシートベルト、チャイルドシート着用指導を重点的に実施した。

- ・ 交通指導所の開設（7/24 新潟北署前）
- ・ 管内市場及びスーパーマーケット利用者に対する広報（7/25）

(2) 交通指導取締り活動の推進

安全速度の定着化やシートベルト等の着用徹底などを図った。

(3) 「ゾーン30」設定区域での交通安全活動

「ゾーン30」とは、生活道路、通学路の安全対策のため最高速度を30km以下に規制している区域のことである。

夏休み前後における通学児童の安全確保のための取締り活動では、携帯電話使用違反、シートベルト着用義務違反などを検挙した。

(4) 高齢者事故防止広報活動

- ・ 高齢者講習の実施
 - ・ 管内市場等における広報、夜光反射材の直接貼付
- (5) 子供の自転車乗車中の交通事故防止対策
街頭活動による指導を行うとともに、子供が多数来場するイベントに参加し、子供に自転車の安全利用指導を行った。
- ・ イベント会場での交通安全広報(7/30 南浜漁港)

3 新潟東港治安対策の推進

東港周辺のコミュニティ協議会及び関係機関等と連携した治安対策を推進した。

その他の業務推進状況

1 子供の安全対策

- ・ 子供を不審者から守るため、その対応要領を学んでもらうために訓練を行った。小学生に通学路に出没した不審者への対処、身を守るための護身術を体験してもらった。
- ・ 学校の先生と連携した不審者侵入対応と避難訓練を実施した。

2 少年の非行防止・健全育成

- ・ ござれや花火、葛塚まつりにおける少年補導員との街頭補導活動を実施した。
- ・ いじめ防止の広報啓発を実施した。
- ・ 小学生作文コンクールを実施したところ、多数の応募があった。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 特殊詐欺被害未然防止のための市民の見守り意識の啓発強化～生活安全課

全国では、特殊詐欺の認知件数が6年連続で増加しており、県内では、昨年5年ぶりに認知件数、被害額とも減少したものの、本年に入り、8月末現在で認知件数は前年同時期を19件上回り、被害額も8月末にして昨年一年間に匹敵する被害となっている。

当署管内では認知件数、被害額とも減少しているものの、いつ何どき被害が発生するか予断を許さぬ状況にある。

特殊詐欺前兆電話の件数が増加しているにもかかわらず、県内の被害未然防止件数は、昨年8月末で203件あったものが、本年同期では136件と大幅に落ち込んでおり、特殊詐欺の手口や対処方法を広く市民に伝え、抵抗力を強化するとともに、地元から被害者を出さないよう地域住民が見守りをしていく必要がある。

よって、

○ 特殊詐欺を未然に防止するための見守りの意識の醸成を図る対策について、これまで以上に推進する。

2 高齢者交通事故防止対策の推進～交通課

例年秋以降、夕暮れの早まりや交通環境の悪化等から高齢歩行者の交通事故が多発する傾向にある。

高齢者事故については全事故の約4割を占めており、歩行中に交通事故被害に遭った方のほとんどは目立たない暗い服装であり、夜光反射材を活用されていた方は、ごくわずかであった。

薄暮時間帯等の交通事故防止に効果のある夜光反射材の活用促進などにより、高齢者に係る総合的な交通事故防止対策を推進する。

3 速度等取締り指針の策定

交通課長が、交通事故実態を踏まえた取締り案についての説明を行った。

4 新潟東港対策の推進～警備課

新潟東港周辺のコミュニティ協議会及び関係機関等と連携した治安対策を推進する。

新潟東港地域は、不審外国人の潜伏等が危惧される国際テロ対策上の重点地区であるほか、過去に外国人が被害に係る殺人事件や外国船員による大量覚醒剤密輸事件等の重大事件が発生している。

当署では、引き続き

- ・ 外国人事業所に対する特別巡回連絡
- ・ 関係機関と合同による新潟東港治安総合対策
- ・ コミュニティ協議会、区役所と連携した青パト車による合同パトロール
- ・ 東京税関新潟税関支署や東京入国管理局新潟出張所と合同による外国船舶への訪船活動

等を実施して、同地区の治安の安定と地域住民の不安の解消を図る。

諮問に対する意見・質疑等（○は署長等の説明）

1 身近な人が数万円の特種詐欺被害に遭った。被害金はどのくらい戻ってくるのか。また、検挙はどれくらいされているのか。

○ 現金を持っている受け子が捕まると戻ってくることにはなりますが、口座に振り込まれてしまった後になると、お金が戻ってくるのは非常に難しいケースが多い現状にあります。

県警察では今年8月末までに50件、人員で26人検挙しています。鉄道警察隊が職務質問で受け子を捕まえたこともあります。「だまされたふり作戦」などで県民に御協力いただきながら、犯人検挙を推進しています。

2 昔、鍵を掛けようとする「近所の人野菜を持ってきてくれたときどうする。」と親から怒られたものだ。時代が変わったが、意識が追いついていない住民がいると思う。

○ 犯罪の総量抑制には、家、自動車、自転車などの乗り物の鍵掛けが最も効果がありますので、あらゆる機会を利用して鍵掛けを呼び掛けています。

3 小学生が不審者に後ろからつけられたという話がある。年に数回あるようだ。

○ 当署では、夜間の警戒を行っています。ひかるくん・ひかりちゃん安心メール、交番のミニ広報紙で情報提供を行っています。また、小・中学生には、学校で行う防犯教室で不審者に遭遇したときの対応要領を繰り返し実地講習しています。

4 「ゾーン30」の規制区域が増えたため、市民の安全につながった。「ゾーン30」規制の実施には、何か条件があるのか。

○ 「ゾーン30」は国から示された交通規制基準と地域住民の皆さんとのコンセン

サスを基に計画し、実施しています。地域からの要望があり、近くに学校があることから、車の抜け道になることを抑制し、通学路と生活道路の安全を確保するため実施しました。交通規制の実施とともに交通指導取締りを進めています。

5 夜光反射材を付けたときの効果はどのようなものか。

- 歩行者、自転車に夜光反射材を付けていると、夜間、運転手からはかなり遠くからでも見えます。見える距離が長くなる。つまり、運転手は歩行者などを早く発見できる効果があります。早く発見すれば、より早く対応して車のスピードを落とせます。統計がないのが残念ですが、夜光反射材を付けていて大きな事故に遭われた歩行者などは、ほとんどないと思われます。

あらゆる機会に警察官が夜光反射材を配布しています。実際に貼っていただくために、警察官が配布した際に、その場でできる限り直接貼らせていただいています。

6 もっと効率的に効果を上げるため、老人などの入居する施設に配布して、施設職員から貼ってもらってはどうか。

- いいアイデアだと思います。介護施設に配布したことはありますが、そのような観点で今後は計画し、実行していきたいと思ひます。

答申

質疑の後、新潟北警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

その他

委員からの「介護施設に夜光反射材を配布して施設職員に貼ってもらったらどうか。」との提言については、交通課で計画実行することとした。



【協議会開催状況】